

ルスツ世界選手権にむけて

北海道スキーオリエンテーリング大会 2007年1月27-28日 北海道留寿都村

木村佳司

2009年3月、北海道のルスツリゾートにてスキー0世界選手権が開催される。そのルスツで北海道スキー0大会が開催された。

ルスツ世界選手権まで2年

ルスツリゾートは北海道の留寿都村に広がる巨大リゾート。ここでは毎年スキー0大会が開催されている。2年後の2009年3月にスキー0の世界選手権が日本で開催されることになったが、その開催地も、このルスツだ。



ルスツリゾートが持つ遊園地の中に設置されたコース。選手の背後に見えるのは夏季営業用のループコースター。さながらパークスキーオリエンテーリング。

堀江・ロシアに向け、まず1勝

スタート直後、スーパースケートィング滑走で選手が次々にテレインに突っ込んでゆく。そんな選手たちの中でも、雪煙を掻きあげながら、鉄砲玉のようにカッ飛んでゆく選手がいる。堀江だ。

昨年までスウェーデンにスキー留学

していた堀江も、今年から日本国内に戻り、徐々に日本のスキー0大会に参戦した。日本には戻ったが、冬の間は練習環境を求めて札幌に練習拠点を移して日々鍛錬している。

2007年2月末に開催されるスキー0世界選手権ロシア大会(モスクワ)に向けてまずは宣言通り、Day1/Day2と連勝発進だ。

Day1 カテゴリ A - 2300m

| | | |
|--------|---------|------------|
| 1 堀江守弘 | 0:18:22 | ski.boy.jp |
| 2 山田敦史 | 0:22:08 | 青葉会 |
| 3 酒井佳子 | 0:25:08 | Teamスキー0 |
| 4 三浦裕司 | 0:25:52 | 札幌旭丘高校 |
| 5 白鳥桂子 | 0:29:34 | |
| 6 高橋美和 | 0:29:48 | GARDE |

Day1 カテゴリ B - 1800m

| | | |
|--------|---------|------|
| 1 菅原春巳 | 0:33:39 | |
| 2 上小鶴誠 | 0:39:05 | STAC |
| 3 峠 道雄 | 0:43:11 | STAC |

Day2 カテゴリ A - 2300m

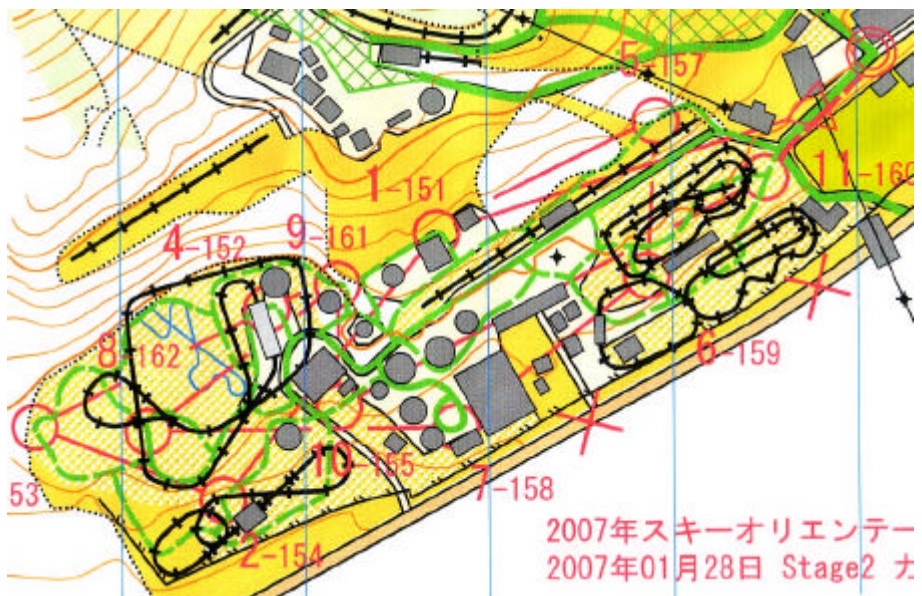
| | | |
|--------|---------|------------|
| 1 堀江守弘 | 0:14:56 | ski.boy.jp |
| 2 三浦裕司 | 0:16:46 | 札幌旭丘高校 |
| 3 山田敦史 | 0:17:24 | 青葉会 |
| 4 酒井佳子 | 0:17:41 | Teamスキー0 |
| 5 東井 透 | 0:20:01 | Teamエクセル |
| 6 柴田達真 | 0:20:10 | OLP 兵庫 |

Day2 カテゴリ B - 1900m

| | | |
|--------|---------|------|
| 1 峠 道雄 | 0:26:45 | STAC |
| 2 上小鶴誠 | 0:31:09 | STAC |



日本男子のエース・堀江、ロシア世界選手権に向けてまずは国内第一戦で勝利。「ルスツリゾートの食事は食べ放題だからそれも楽しみ。」堀江はハングリー精神で今年も突っ走る!



2007年スキーオリエンテーリング
2007年01月28日 Stage2 ナ

大会2日目はルスツリゾート遊園地でスプリントレース複雑で快適なスノートラックをぐるぐる回る。ジェットコースター並みのスピード感。

実力は男子並 酒井佳子

日本女子のエース・酒井佳子も安定した成績。男子の世界選手権組と互角の成績を残している。転勤により東京に移ってしまったが、毎週末雪に乗りロシア世界選手権に備えている。



雪の降りしきる中スタートへ登る酒井

スノーナビゲーションは楽しい

世界選手権まで2年となった今年から、トレインクローズが始まり、世界選手権が終わるまでの間にスキー0で利用できるエリアが制限された。

今回のレースは2日間にわたって2レースが行われたが、いずれも狭い範囲を使用したスプリントレースだった。地図は2日間とも縮尺1:5,000という大縮尺を使用している。このため初心者にも優しいコースセッティングとなっている。

今回初めて参加した方は口を揃えて「楽しい」と言う。雪国で冬にできる唯一のナビゲーションスポーツがこのスキーオリエンテーリングなのだ。



スノーリゾートにそびえる摩天楼と広大なスキーエリア。ここに広がる森林が2年後の世界選手権を息を潜めて待っている。



スノーシューでの参加者

フカフカ雪ならかなりスキーに対抗できる。スキー経験がない人でもカンタンに雪遊び。

レースが終わったあとに開放されたトレインに選手は次々と入ってレースを振り返りつつ、新たなルートを検証し、自分のスキー技術の確認を行う。

スキー0は楽しい。気温は氷点下だが、装備をして体を動かせば、体はホカホカ。地図を持ってナビゲーションすれば寒さは忘れてしまう。

来年にもトレキャン

来年はトレーニングキャンプが開催される予定。これは世界選手権1年前に、本戦のトレイン近くで、参加各国が合宿を行い、トレイン以外のあらゆることをチェックすることが目的だ。

1年先には世界各国のトップ選手がルスツに来る。その滑りを見る日はもう近い。

この6月には全日本大会も

ルスツで行われるのはスキー0だけではない。この6月には全日本大会が北海道で開催されるが、その会場となるのも、このルスツ。北海道のオリエンテーリングシーンは札幌近郊をその舞台としているが、ヒグマの出没ともなあってパーク0が主流となってきつつある。そんな中、大規模大会はこのルスツリゾートが主軸となって行われる。



スキー0世界選手権ルスツ大会準備委員会が夜に開催され、大会の骨格が話合われた。(木村佳司)

